

広島県中小企業団体中央会 2019年5月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

5月の出荷量は前月比17.5%減少、前年同月比23.2%減少となり、売上高は前月比15.4%減少、前年同月比20.7%減少となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

スーパーの売上が伸び悩んでいる。

地方発送のある企業は、運賃負担の大きさに疲弊している。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成31年4月の全国の住宅着工戸数は79,389戸で前年同月比5.7%減少
- ・季節調整済年率換算値では93.1万戸(前月比5.8%減少)
- ・利用関係別では、持家は25,436戸で前年同月比9.29%増加、貸家は29,511戸で前年同月比16.7%減少
- ・分譲住宅は23,411戸で前年同月比6.0%減少
- ・木造住宅着工は45,179戸で前年同月比0.1%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で5ヵ月振りの減少となった

<広島>

- ・広島県内の4月の着工戸数は1,815戸で前年比9.7%増加、このうち持家は471戸で13.2%増加、貸家は610戸で前年比15.6%減少、分譲は685戸で前年比32.8%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月振りの増加となった
- ・地域別では広島市が着工戸数838戸で9.9%減少、尾道市が36戸で43.8%減少の一方、福山市は407戸で34.8%増加、呉市が152戸で186.8%増加、東広島市が151戸で39.8%増加、廿日市市は66戸で43.5%増加と昨年の平成30年7月豪雨の被災地復興需要の有無により業者や地域間に繁閑差がある。
- ・プレカット工場に景況回復の兆しは見られるが、慢性的な大工不足や配送料の値上げの問題もあり、売上以上に経費がかさみ、利益率低下を懸念する声も多い。

福山木材協同組合

10月の消費税増税へ向けての駆け込み需要を期待している。

広島県北部国産材加工協同組合

大形連休で荷動きが一時止まったこともあり、5月は停滞感が濃くなってきている。

丸太の出材は相変わらず活発ではあるが6月は梅雨時期に入り、例年丸太の品質が低下するため丸太価格は低下することが懸念される。

製材所の丸太在庫が高水準であることから相場は軟化している。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

平成から令和へと時代が変わったことは、印刷業界にとってビジネスチャンスになると思われる。組合の通常総会でも理事長が今後5年間の業界の展望を示した。

化学・ゴム

工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

徐々に仕事量が減り始めている。

しかし減産対応は容易ではなく、さらに変動費の削減にも結びつかない。

自動車部品メーカーにとって、日米貿易協定交渉による輸出台数制限は、打撃必至である。

原価低減意識を一層高めて行く必要がある。

プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は、現在も順調に推移している。全体的にも売上は現状を維持している。

今年は不安定要因が多く、先行きが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

31年5月 3,026^m (前年比5.29%増加)

31年4月 3,193^m

30年5月 2,874㎡

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

外国人技能実習生の雇用を検討する事業者が増えてきている。

その一方で、外国人技能実習生の自転車の交通ルール違反などの問題を耳にするようになった。

広島県鋳物工業協同組合

米中貿易摩擦に関して直接の影響はないが、金型の発注の延期など、貿易摩擦が要因と言える事象は発生している。

自動車開発の足踏みや部品の現地調達など、この先も影響を懸念している。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、年度末の反動減により、前月比94.0%増加、前年同月比106.1%増加となった。

大幅な減少は出荷時期による売上計上のずれによるもので、操業はフル稼働を継続しており、実質昨年並みの売上である。

米中、日米の貿易摩擦の影響で受注は苦戦している。

出島工業会協同組合

組合員企業の動向について、特に大きな変化はない。

組合の課題は役員の高齢化と世代交代である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月はGWの影響で稼働日数が少なく前月比10.0%減少、前年同月比3.0%減少となった。メーター関連は復調の気配があるが、輸出は低迷が続いている。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

働き方改革を推進するのであれば中小企業の生産性向上、合理化に対し補助金等による支援をお願いしたい。

取引先からはコストダウン要請があるが、人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

・5月の国内自動車販売台数は全需が396千台、前年同月比6.5%増加と2ヶ月連続の前年超え。登録車も前年同月比4.8%増加と2ヶ月連続の前年超え、軽自動車も前年同月比で9.5%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は12.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ

・アメリカの4月の全需は1,332千台で前年同月比1.7%減少と3ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同14.5%減少と10ヶ月連続の前年割れ

・欧州の4月の全需は1,508千台で、前年同月比2.8%減少と8ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同5.3%減少と4ヶ月連続の前年割れ

・中国の4月の全需は2,219千台で、前年同月比4.3%減少。マツダ車は同31.2%減少と12ヶ月連続の前年割れ

・上記各地域の状況下、マツダ車の4月の海外販売合計台数は99千台、前年同月比10.8%減少と8ヶ月連続の前年割れ

・マツダの4月の輸出動向については、輸出台数は前年比12.4%増加と2ヶ月振りの前年超え

・マツダの4月の国内生産台数は、前年同月比4.2%増加と2ヶ月振りの前年超え

輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和元年5月の船舶建造許可実績は6隻411,050総トン（前月2隻47,700総トン、前年同月3隻332,000総トン）であった。なお、内訳は国内船が1隻で全てが貨物船、輸出台数は5隻で貨物船が3隻、油槽船が2隻であった。

その他

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

4月末で2社が脱退した。1社は業種転換によるもので、1社は後継者不在により将来的な廃業を視野にした事業縮小のためである。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

GWは得意先である小売店舗の販売が低調で、特に食品他生活用品の販売が低調であった。全体的に売上、利益共に減少した。

「資材関連」においては、公共工事・民間工事ともに減少傾向。夏物の季節商材の販売により回復を図りたい。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁にはタイムラグもあり、苦戦している。

「食品」においては、得意先（販売先）の廃業や集約、食料品の値上げの影響もあり、引き続き厳しい状況である。

「繊維」においては、物流のコストアップ、従業員の高齢化に少人数経営では十分な対応策が見いだせず、対応が後手となり厳しい状況が続いている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇し、人手不足感も継続している。

足もとの売上は前月比減少。収益環境は人件費、配送費及び燃料費も上昇しており依然厳しい。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県3月の住宅着工状況は、前年比15.3%減少、内訳として持家は1.8%増加、分譲3.1%減少、貸家31.1%減少と、持家が増加しているのは、消費税増税前の駆け込み需要ではないかと考えられる。

働き方改革による有給休暇、残業時間の短縮など、我々中小企業は働き方を大きく変えていかなければならない。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

6月末で店舗売却により1店舗、閉店する。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内各地では、総会や様々なイベントが多く開催されている。畳業界においも販売不振が続いている。5月に入り、依然として大きな動きは感じられない。上級品は値上がりしているが、下級品は安値で推移している。

中国産畳表も同じく販売不振の状況である。値段も安値で推移しており、業界の先行きには不透明感が感じられる。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

10連休は農繁期のため、イベントを多く実施したが集客力は弱かった。人手不足は解消されていない。

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

青果物、鮮魚類とも入荷状況は前年比減少している。物流費の上昇が価格に反映され、売上への影響が懸念される。

食料品小売は消費意欲が持ち直しておらず、景気がやや悪い状態が続いている。

大型スーパーは、大型連休により売上を維持しているが、逆に中小小売業者にとっては厳しい状況となっており、業界内格差が出ている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比9.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比9.8%減少、冷蔵庫同1.4%増加、洗濯機同7.4%減少、IHクッキングヒーター同11.1%減少、電気温水器同13.9%減少、エアコン同8.5%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

石油販売事業者にとって10連休はマイナスに作用した。全国的に見ても石油製品の元売りから小売りへの出荷量は大幅に減少している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

当商店街と中通り商店街を繋ぐ花見橋通商店街に5月17日、スーパーマーケットが改装オープンした。3月に閉店した老舗スーパーの空き店舗を再利用したもので、呉市内3店舗が同日オープンした。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比16.9%減少、前年比3.0%増加
車検場収入は、前月比13.5%減少、前年比2.7%増加
重量税・登録印紙の売上は、前月比16.1%減少、前年比23.0%増加
5月から自動車重量税のエコカー軽減率の引き下げ率が低下した。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型連休もあり、売上は減少した。
特に大型工事があるわけではないが、稼働率は高い。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が見込まれる。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比2.93%増加、前年比18.71%増加となった。
先月、今月と前年比増加となった。新築以外の電力の契約変更や容量変更が増加傾向にある。
今年度に入っても作業員不足は解消されず、益々深刻化している。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、5月度は前月比13.8%増加、前年同月比5.7%増加、前年累計比10.5%増加となった。長いGWで本来稼働日数が減るところ、逆にその期間を利用しての新規、改修工事が多かった。
例年6月は仕事量、売上ともに安定してしているが、今年は裏付けとなる物件が見えてこない。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

5月前半は大型連休の影響で売上高は前月比、前年同月比とも減少となった。連休明けから多少荷動きが回復し、前年並みの売上、収益を確保することができた。
荷主企業により違いはあるが、ダンプは昨年7月豪雨災害の復旧工事で河川の浚渫工事等が未だ続いており、フル稼働している。
設備投資(車両)にあたっては、発注して納車まで1年近くかかることもあり、さらには排ガス規制等の厳格化も相まって、仕事量の増加への急な対応は難しい状況である。

広島輸送ターミナル協同組合

GWが長期であったため5月の稼働日数が少なかったことと、GW明けの荷動きが予想以上に悪く、売上、収益共に減少した。
改正労働基準法による労働時間の短縮には高速道路の利用は不可欠で、高速道路利用料金と4ヵ月連続で上昇している燃料代等の運送コストの増加も収益を圧迫している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

5月は例年同様稼働日数の影響により売上高、収益状況は前月比減少、前年同月比不変となった。
燃料価格は4ヵ月連続上昇しているが、来月は値下げに転じると予想している。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前年同月比では特に大きな変化はない。
6月、7月は広島県の地価調査基準地評価作業があり、今年は固定資産税の評価替えによる公的評価がある。
地価は依然として平地の利便性の高い地域を中心に上昇傾向にある。
三川町、富士見町、流川町、田中町で7棟のホテル建設計画が進んでおり、インバウンド等外国人観光客増加のための施設整備が進んでおり、周辺の活性化が期待できる。